

みはる幼稚園

テーマ 及び目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が一から育て、収穫した作物を食べる経験をする（じゃがいも） ・ 野菜を今よりも身近に感じ、好きになってほしい
対象及び 参加人数	年少108人
実施日	平成29年9月1日（金）10:30～13:00
実施主体	みはる幼稚園
会場	幼稚園の畑
スタッフ	年少担当教師9名
内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種いもを園の畑に子どもたちと植える（5月12日） ☆畑の観察（5月中旬～7月中旬） 芽が出た時期あたりから、「じゃがいもどうなったかな?」「じゃがいも見たい」と子どもたちから声があがるようになる。どんどん大きくなる葉を見て「大きくなったー!」と日々の経過を子どもたち自ら感じ、興味を示す。 ☆収穫する（7月20日） 植えた時期が遅いため、夏休みの預かり保育中に子どもたちと収穫する。固い土に苦戦しつつ、一生懸命に掘る。 ☆じゃがいもをカレーにして食べる（9月1日） じゃがいもはもちろん、他の学年が育てたなす・トマト・ピーマンをまぜ豚肉を入れ、カレーを作る。子どもたちは苦手な野菜が入っているのを見ても「いやだー」とは言わず、「まだー?」「いいにおい」など歓声をあげていた。大きな鍋に作ったカレーをあっという間に完食する。
成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種いもから植え、芽が出るのを見たことで、目で見て変化を感じることができ、日々大きくなる葉に興味津々で、外遊びに行くと必ずじゃがいもをチェックし、畑探検が日課となっていた。 ・ カレーに、なす・ピーマン・トマトを入れ、普段はそれらが苦手な子も園の野菜ならと食べられる子が多くいた。 ・ 「じゃがいもしんぶん」を出し、保護者とも共有し、家庭でもクッキングをしてみたとの声や、苦手な野菜が食べられたとの声があがった。
今後の課題 感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全員で収穫体験ができなかった。次回は全員で共有できる時期を考える。 ・ 一から育てたものを食べる経験をすることで、作ってくださる方々に感謝すること、残さず食べることの大切さを感じてほしいという願いを込めて活動をした。今すぐにはわからなくても、これから少しずつわかっていってほしい。 ・ みんなで育て、みんなで料理して、みんなで食べるという過程を、子どもたちが楽しみ、それを健康につなげることが大切である。

